

備後教区報

E-MAIL: paper@bingo.gr.jp

発行所

〒 720-0052

福山市東町 2-4-5

本願寺備後会館内

教区報専門委員会

TEL (084) 924-5759

FAX (084) 931-9323

発行人

教務所長 高田英彦

会館報恩講 盛大に勤まる

連夜 一奉讃大師作法一



日中 一礼讃初夜偈一



講師

大坂教区光昭寺
若林真人 師

結衆 一奥組・御調束組一

祖師莊嚴 一須弥盛一

遠近各地より
たくさんのご参拝
まことにありがとうございました。

讃嘆衆 一備後雅楽会一



4 ページに関連記事

九十歳僧侶表彰

(敬称略)

御調西組	三 次 組	比 婆 組	中 組
憲徳寺	善照寺	西教寺	融玄寺
松井	安部	藤井	園井
ゆき	大恵	義證	孝之

世 羅 組	三 次 組	三 次 組	比 婆 組	比 婆 組	芦 田 組	鴨 川 組	鴨 川 組
善行寺	安養寺	浄念寺	妙延寺	円正寺	善行寺	福泉寺	教善寺
真澄	丸山	泰増	尾野	伊達	堤	児玉	三次
瑛智	充信	嗣博	義宗	晃承	有年	雄嗣	頭祐

住職在職三十年表彰 (敬称略)

まどいの目には見えねども

教区会議長 藤井徳行 師



「オールウエイズタ日町三丁目」という映画を見ました。最近ではテレビ画面を使って「映画」を観ることが多いので、映画館で観賞することは本当に久しぶりでした。

時は昭和三十三年、東京タワーが出来つつあります。

青森出身の主人公星野六子は集団就職で東京にやってきました。まさに出征兵士がほんの十五年くらい前に郷里の駅で見送られたように、毎年沢山の中学生、高校生が東京へ大阪へと郷里の駅で送られて「金の卵」として集団で就職していった時代です。六子は読書好きで手先も器用、学校での成績は一番でした。就職して、社長秘書になるものと思っていました。ところが就

職先の「鈴木オート」は東京の下町にあり、社長と奥さんと子供の小さな修理工場でした。東京で大きな会社の社長秘書を夢見ていた六子はがっかりしました。すっかりおちこんでしまったのです。車の修理に必需品である「ジャッキ」という道具の名前さえ分からず、右も左も分からぬ東京で、怒鳴られる毎日でしたが、短気であつても心根は優しい社長や鈴木一家の愛情に支えられて、順調に東京生活を送り始めます。夏になり、お盆が近づいてきます。社長夫妻は一度お盆休みを取って青森に帰って、両親に元気なところを見せてくるように勧めますが、六子は頑な態度で帰りませんと言います。苦勞をしながらも少しづつ東京になじみ、修理の仕事にも慣れてきました。やがて暮れになろうとしています。今年一年の終わりにあたって、社長はプレゼントをくれます。六子は大喜びをしますが、中身を見て暗い顔になりました。

青森行きの切符だったからです。悩んだ末、「青森には帰りません。いや帰れないのです。」といって切符を社長に返します。両親や家族や友達がどんなにか六子の帰りを待っていることかと言いつつ、おかみさんが理由を聞くと「私には帰るところがありません」「待ってくれている人なんかいません」といいます。上京するとき、母が「前は口減らしに東京にやるんだ。帰ってくるんじゃないぞ」といって、ろくすっぽ見送つてもくれませんでした。「東京にきてからもつらくて淋しくて手紙を出したが一度も返事をくれません。私は捨てられた、こんな私に帰るところはありません。」と泣くのです。やっと合点したおかみさんは「どこの親が子供に会いたくない、顔も見たくないって言うものがあるものか」といって六子の母から毎月、おかみさん宛に送つてきていた手紙を見せるのでした。「おかみさんがな、やさしく六子を見送ると里心がついてすぐ帰って来なくなる、辛い仕事にも耐えられない東京の生活にも耐えられなくなつて、

六子が悲しい思いをするだろう、そう思つて口減らしだの、帰つてくるところはねえぞ、なんて心を鬼にしていって送り出したのです、と手紙に書いてきておられるんだよ。毎月毎月あんなのことを頼みます、六子は元気で頑張っていますか、と心配で心配で、でも六子に見せてはいけなく書いてある手紙が届けられてくるんだよ」と親の真実の心を伝えてくれたのでした。これを聞いた六子は今度はうつつかわつて喜びの涙に咽びながらあわてて帰り支度をするのでした。「煩惱障眼雖不見 大悲無捲常照我」です。まどいの眼には見えないかもしれないが、おやさまの温かいお慈悲のこころはあの手の手でこの私に届けられているのです。親の真心さえ疑い兼ねない、煩惱づくしのこの私に、気付よ、称えよ、どうぞこの私に任せよと喚びどおしに喚んで下さっているのです。両手を合わせて南無阿弥陀仏。

どうぞ今年もよろしく願ひいたします。

Vol. 14

探坊訪守

おじやまします

あなたのお寺に



今回は万福寺の恭子坊守を訪ねました。こちらのお寺は南北朝時代に天台宗の寺院として建立されたのち、江戸時代頃から浄土真宗の寺院として現代に至るまで同じ場所にたつお寺だそうです。境内を回ると天台宗時代の名残が見ることができま



天台宗時代の宝篋印塔
(ほうぎょういんとう)

さて、お邪魔してまず驚いたことは、ここはなんとペットが6匹！通い猫が4匹とベツトファミリー！！私自身も動物を飼っているのでそのお話で盛り上がりすぎてしまいました。

恭子さんいわく「動物のいない生活は考えられない！」との事。同感です！

色々な動物に関するエピソードも聞かせていただきました。はじめにそれらから何点かご紹介させていただきます！と思います。

まずは猫のカールくん。瀕死の状態で迷い込んできたそうです。ヒゲも毛も伸び放題で、絡まり放題だったので名前が「カール」。当時は本当に死にそうな状態だったそうです。今はびっくりするくらい賞禄があつて元気に姿をみせてくれないのですが、決して太っているわけではないのですが、とにかくサイズが大きいです。

シャネルちゃんは、捨て猫だったのをお嬢さんが拾ってきたそうです。人見知りか激しいそうで、昔動物病院に連れていったとき、吉和の山に脱走してしまつたそうです。家族総出で大搜索したとか……お医者様に「よく見つかったね」と驚かれました。

こういったお話の中で、本当に動物を家族として迎え入れてらっしゃるということがよくわかります。家



恭子さん

カール

マロン

族全員の人柄というのでしょうか？心から命を大事に思う姿勢、見習いたいと思います。

さて、たくさん動物たちの世話をするだけでも大変なのですが、お寺のことであればそれ以上に毎日お忙しくされています。

境内や裏山を拝見させていただきました。滝が流れ、夏場には蛍が飛び出すという趣のある庭を抜け、滝の裏側からの水の流れを堪能しつつ、ふと目に入ったのは立派なコンボとダンプカー……。なんでも植物の消毒はもちろん、庭の池や滝、お墓の周りの石垣も家族総出で作ってしまったとか……。『餅は餅屋』なんて誰が言ったのだらう……と、とてもカルチャーショックを受けてしまいました。裏山に露天風呂計画もあるとかで、完成したら是非、招待していただきたいと思います。

わざわざ移築されたというお茶室も見せていただきました。お茶室からみる外の風景もとても趣があり時の流れを忘れてしまいます。雪など積もった日はとても美しいでしょうね。小学校の体験学習で子どもたちがやってきた時や七月中に行うサマースクールの時など、そこでお茶を出したりなどして雰囲気体験させてあげたりするそうです。本で見たり聞いたりするよりも子どもたちの感性を刺激する素敵な場所でした。

十一月二十日には地元の小学生たちを招いてお茶体験会を催されたそうです。

手造りの石垣



茶室

このように寺院に関することはもちろん、地元根付いた活動も精神的に行われています。時期を限らず、年中お忙しくされているのですが、その力の源は？というところ、動物たちを含む家族があつてこそその事なのだと思いました。とてもユニークで元氣な家族に囲まれてこれからがんばっていきましょう。

時忘れ

子らと楽しむ陽だまりの中

「子」とは家族、地元の子供たち、動物たちなどをさします。現代の喧騒や時の流れに流されずに暖かい気持ちを忘れずに過ごしたいという気持ちこそめましました。

新門徒宗会議員決まる!!

御調西組 順勝寺門徒

勝村篤博さん選ばれる



所属寺 御調西組 順勝寺
かつむらあつひろ
氏 名 勝村篤博
経 歴 順勝寺責任役員
(株)勝村木材代表取締役
前三原市商工会議所会頭



さる十月七日(金)、門徒宗会議員の開地弘議員が亡くなられたことにより、十二月一日(木)に新しく門徒宗会議員を選出するため臨時教区会が召集されました。その中で選挙会が実施され、出席議員二十二名満票で勝村篤博さんが選ばれました。後日、所属寺である順勝寺にて当選状が手渡されました。また、併せて会館総代並びに会館参与にもご就任くださいました。

News

本願寺備後会館 報恩講

去る十一月三十日(水)大阪市光照寺若林眞人先生をご講師にお招きし、本願寺備後会館報恩講が勤修されました。

今年は日中法要において十何年かぶりの「礼讃初夜偈」をお勤めいたしました。

午後からの速夜法要では奥組、御調東組より三名ずつの出勤をいただき、日中からの備後雅楽会の奏楽の中、教区内遠近各地より百名以上の参拝がありました。

報恩講に併せて、住職三十年表彰並びに九十歳僧侶表彰式(表紙参照)が行われ、また、ボーモリーズによるコーラスが今年も大好評でした。



報恩講コーラス



表彰 安部先生

本願寺備後会館 参与名簿

新しく下記の皆様にご就任下さいました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

○組	○所属寺	○氏 名	○組	○所属寺	○氏 名
備中里	浄心寺	藤井良信	神 石	泉正寺	小林壽臣
備中里	専教寺	岩崎弘次	神 石	光福寺	吉岡弘次
備中里	教善寺	竹原良枝	神 石	光福寺	伊田泰康
中	光福寺	大塚悦士	三 谿	立泉寺	西田 勇
奥	大宝寺	小山義弘	三 谿	法専寺	山口 功
奥	善教寺	河上 勲	三 谿	専教寺	森橋幸雄
深 津	専光寺	藤井文雄	三 谿	明覚寺	横山良三
深 津	専光寺	藤井芳則	三 谿	善徳寺	竹下公人
深 津	専光寺	藤井義之	三 谿	明玄寺	法宗 駿
深 津	誓蓮寺	藤井春勝	三 谿	照善坊	若林博明
深 津	光行寺	妹尾 隆	比 婆	金秀寺	高井修三
深 津	光善寺	登里 豊	比 婆	金秀寺	岩苔 讓
鴨 川	金蔵坊	井上 寛	比 婆	円正寺	藤元司郎
鴨 川	泉龍寺	佐藤 清	比 婆	西念寺	馬河直顕
鴨 川	正覚寺	三島睦彦	比 婆	勝光寺	瀬尾徳寛
鴨 川	正覚寺	榎本昭三	三 次	覚善寺	野村俊也
鴨 川	福泉寺	児玉幸夫	三 次	法正寺	和田邦二郎
鴨 川	福泉寺	石井一幸	御調東	円龍寺	濱本隆三
鴨 川	福泉寺	中山範彦	御調東	円龍寺	増山光良
鴨 川	正福寺	三島将行	御調東	円龍寺	井上秀夫
鴨 川	浄光寺	園尾搏男	御調東	光林寺	突沖卓美
鴨 川	福泉坊	小林幡太郎	御調東	法光寺	杉之原 衛
鴨川北	泉蔵坊	楠本貫二	御調西	順勝寺	勝村篤博
鴨川北	照専寺	大田克美	御調西	光徳寺	原田實夫
鴨川北	正明寺	瀬良次郎	世 羅	浄鏡寺	板橋文夫
鴨川北	円福寺	児玉辨二	世 羅	光永寺	津島 稔
沼隈西	法蔵坊	山本隆司	世 羅	善仁寺	藪花啓宏
沼隈南	南泉坊	三谷清隆	世 羅	専光寺	横山 公
芦 田	西福寺	桑田五郎	世 羅	西教寺	池口 勝
芦 田	西福寺	永久 忠	世 羅	円超寺	重末博文

2005 (平成 17) 年 10 月 26 日～2009 (平成 21) 年 10 月 27 日まで

秋期勤式研修会



十一月十八日(金)、本願寺備後会館において、秋期勤式研修会が行われました。昨年の研修会に引き続き京都の本願寺開明社「花新」の水本敏雄先生を講師にお迎えしまして、二回目となる「仏華について」の講義を各組ごとに分かれて実際にお花を立てながらの研修となりました。

参加者の皆さんも本堂のお荘厳に役立てようと、熱心に取り組んでおられました。

中には力が入りすぎて、ボキッという音もちらほら聞かれましたが、それぞれに素晴らしい仏華が出来上がり、お互いの華を見比べながら「いい華が入ったね」と喜びながらの研修会となりました。



本願寺両堂・大谷本廟で 仏華を立てている開明社「花新」の水本敏雄先生



仏婦・寺婦 基幹運動研修会



～講 題～

「みんなで生きて行きませんか」

～講 師～

連研中央講師
内田正祥 先生



十二月六日(火)、本願寺備後会館において八十九名の参加者のもと、仏教婦人会と寺族婦人会合同で研修会が行われました。午前は先生より基調講演をいただき午後からは四班に分かれて班別討議。全体会では各班からの発表が行われた後、まとめの話をいただきました。内田先生の温和な人柄のもと、和やかな雰囲気の中話し合い法座がもたれ、有意義な研修会でした。



中四国ブロック 真宗青年のつどい 安芸教区担当にて開催

十一月十九日(土)から二十日(日)かけて中四国ブロック真宗青年のつどいが安芸教区担当にて開催されました。

ご講師は安芸教区の吉崎哲真先生で中四国各地から三十名近くの参加がありました。

備後教区からは五名の参加と少々さびしいものがありました。が、全員声を揃えて楽しかったと感想をいただき、次回も参加することを約束してくれました。

今年度の教区のつどいは二月二十五日(土)～二十六日(日)、福山市にて行われます。中四国ブロックに負けない企画を準備されてるそうなので、騙されたと思って一度参加してみたいかがでしょうか？

教区のつどいは2月25日(土)～26日(日)福山にて開催!!



事 雑記帳

仏旗(六金色旗)について



六金色旗の由来

六金色とは青・黄・赤・白・淡紅・及び五種混色をいいますが、これは『涅槃経』に「二月十五日涅槃の時に臨む：爾時世尊晨朝の時に於て其の面門より種々の光を放つ。其の明、色雜ゆ。青・黄・赤・白・玻璃・瑪瑙の光あまねく此三千大千仏の世界を照らす。十方亦復此の如し。其の中所有者六種の衆生の光に遇ふ者、罪苦煩惱一切消除す」という御文に由来します。

六金色旗の創始者

アメリカ合衆国陸軍大佐オクルコット氏が『涅槃経』の御文をヒントに、一八八五年四月、仏教徒共通のシンボルとしての六金色旗を創案しました。

氏はインド、セイロン島(スリランカ)に渡航して仏教徒となり、神智学会という仏

教研究機関を組織するなど、当時、植民地政府下における仏教の社会的地位の向上に努めました。そのひとつが六金色旗の創案になります。

日本へは明治二十年(一八八九)オルコット氏来日とともにこの旗が伝わり、今日の如く広く用いられるにいたりました。そして、一九五〇年世界仏教徒連盟(WFB)が結成され、スリランカでの第一回会議で正式に六金色旗は「国際仏旗」として採択されました。

青	黄	赤	白	淡紅(めのう)	青	黄	赤	白	紅
									※玻璃

※玻璃とは水玉白珠とも言い、水晶の如き無色透明体で、他の五色の色相をそのまま映し出したる様を第六の混色で表している。



スリランカ 仏蘭寺のお練にも仏旗がみられる

今年もボーモリーズ熱唱！ 緩和ケア病棟訪問



十二月十九日(月)、寺族婦人合唱団ボーモリーズが昨年に引き続き今年(四度目)も福山市三吉町にある三愛病院緩和ケア病棟を訪問くださいました。

毎年恒例になりつつあつて患者の皆さんも待ってましたとばかりに病棟のロビーに集まる中、仏教讃歌はもちろんのこと「上を向いて歩こう」「荒城の月」などなど、たくさんさんの歌を熱唱し、最後は、もういくつ寝ると〜♪でお馴染みの「お正月」をみんな一緒に歌いました。

今年も大変喜ばれる病棟訪問となりました。

あの暗かった会議室が、まあ！なんということでしょう！



教区内の皆さんには大変ご不便をおかけいたしておりました会議室改修工事ですが、十二月十七日、無事改修工事を終え、新しくなった会議室をご利用いただけるようになりました。改修工事の中心は旧館の一階部分と新館壁のクロス張替えでしたが、それだけでも見事に様変わりしたように感じられますので、また会議室近くまでお越しの際は一度お立ち寄りください。

リニューアルオープン！ 本願寺備後会館



玄関も光あふれる安らぎの空間に生まれ変わりました。

Invitation

予 報

寺族婦人会連盟研修旅行「平和学習の旅」開催のお知らせ

日 時 2 月 9 日 (木) ~ 1 0 日 (金) 1 泊 2 日
研修地 沖 縄

基推第一部会主催第 2 回現地学習会開催のお知らせ

昨年度も環境問題について学習会を行いました。今年度はそれを踏まえてバイオマス、特にペレットストーブについての現地学習会を下記の通り行います。ぜひぜひご参加ください。

期 日 1 月 2 6 日 (木) 1 0 : 0 0 ~
会 場 庄原市内 NPO 法人「森のバイオマス研究会」

2005 (平成 17) 年度 同朋講座開催のお知らせ

日 時 2 月 1 4 日 (火) 1 3 : 0 0 ~
会 場 本願寺備後会館 本堂
講 師 内田正祥 先生 (本願寺派布教使・連研中央講師)
テーマ 「男女共同参画社会とは…教団・教区における課題」

2005 (平成 17) 年度 備後教区僧侶研修会開催のお知らせ

日 時 2 月 2 3 日 (木) 1 0 : 0 0 ~
会 場 本願寺備後会館 本堂
講 師 阿満利磨 先生
(NHK 社会教養部元ディレクター 明治学院大学国際学部教授)
テーマ 「伝道」

上記、各行事につきましては、日が近づき次第、詳細なご案内をさせていただきます。

講師プロフィール

観山正見(みやましょうけん)
国立天文台副台長



1951 年広島県東広島市の浄土真宗本願寺派長円寺に生まれる。京都大学理学部、同大学院卒業。同大学助手、国立天文台助教授を経て、92 年より教授。96 年副台長に就任。理学博士で専門は「理論天文学」(星や惑星の形成論)。日本天文学会、日本物理学会、アメリカ天文学会等に所属。著書に「太陽系外惑星に生命を探せ」(光文社新書)、「パソコンによるシミュレーション物理」(共著・朝倉書店)ほか。安芸教区賀茂東組長円寺衆徒。

備龍会 公開講座

記

日 付 2006 (平成 18) 年 1 月 26 日 (木) 13 時
場 所 本願寺備後会館
福山市東町 2-4-5
084-924-5759
講 師 国立天文台副台長 観山正見 先生
受講費 無料
対 象 一般(どなたでも受講できます)

日 時	平成 18 年 3 月 24 日 (金) 10:00 ~ 15:00
場 所	御調町ソフトボール球場(予定) (御調郡御調町高尾 230 番地) 場所については変更の可能性がありますので、後ほど各教区内寺院様宛にお送りしますご案内をご確認ください。
参加費	1ヶ寺 1000 円 (何名でも)
対 象	備後教区 僧侶・寺族 (ご家族みなでどうぞ)
申 込	各組備龍会幹事まで
主 催	備後教区備龍会
雨天の 場 合	中止(小雨決行) 判断の付きかねる場合は備龍会幹事にご確認下さい
その他	・昼食は準備します ・グローブのある方はお持ち下さい

備後教区
ソフトボール
大会

・台所の夕飯のにおいにさそわれて

お勤めのテンポあがる

お内仏前の父と子

・寒さが少しゆるんだ日に親鸞聖人を偲ぶ。

あの土地でこんな穏やかな冬の日があっただろうか

皆さんの心に響いた言葉を教務所までお寄せください



教区月報

9 月

- 1 日 仏婦 50 周年記念大会広報部会
- 2 日 同朋三者懇話会 (広島別院)
- 3 日 若婦人専門委員会
- 6 日 仏婦常任委員会
- 8 日 総局巡回
- 9 日 仏婦 50 周年記念大会小委員会
- 11 日 会館常例法座 (深水正道師)
- 12 日 仏婦大会仮リハーサル
- 15 日 教区報専門委員会
- 15 日 仏婦 50 周年記念大会広報部会
- 16 日 勤式練習会
- 17 日 千鳥ヶ淵法要団体参拝 (18 日まで)
- 20 日 仏婦 50 周年記念大会会場部会
- 21 日 仏婦 50 周年記念大会行事部会
- 25 日 仏婦 50 周年記念大会部門連絡会議
- 27 日 連研のための研究会
- 30 日 ビハーク研修協議会

10 月

- 3 日 仏婦 50 周年記念大会前日準備
- 4 日 仏婦 50 周年記念大会
- 5 日 責役・総代会
- 6 日 総代研修会 (北部 三谿組照善坊)
- 7 日 総代研修会 (南部 本願寺備後会館)
- 11 日 会館常例法座 (福光 恵師)
- 12 日 少年教化推進専門委
- 12 日 少年連盟役員会
- 17 日 基推第 1 部会
- 17 日 法式・法務専門委
- 18 日 仏婦役員会
- 19 日 基推第 4 部会
- 20 日 寺婦勉強会
- 20 日 勤式練習会
- 22 日 仏社役員会
- 25 日 基推常任委員会
- 28 日 臨時教区会
- 28 日 法要委員会

11 月

- 2 日 賦課基準調整小委員会
- 4 日 仏婦役員会
- 4 日 教区報専門委員会
- 4 日 仏婦 50 周年記念大会実行委員会反省会
- 8 日 布教団反省会
- 11 日 会館常例法座 (寺山寿範 師)

- 18 日 秋期勤式研修会
- 22 日 法式・法務専門委員会
- 25 日 布教団役員会
- 28 日 仏婦 50 周年記念大会広報部会
- 30 日 会館報恩講

12 月

- 1 日 常備会
- 1 日 臨時教区会
- 5 日 基推第 2 部会
- 6 日 仏婦・寺婦基幹運動研修会
- 7 日 大遠忌法要委員会
- 10 日 若婦人専門委員会
- 11 日 会館常例法座 (岡部正顕 師)
- 12 日 ビハーク役員会
- 14 日 布教団記念冊子作成企画編集部門委員会
- 16 日 基推第 4 部会・各専門委合同会議
- 19 日 基推第 1 部会主催学習会
- 20 日 仏婦記念誌作成委員会
- 21 日 組長会
- 27 日 布教団記念冊子作成委員会
- 27 日 賦課基準等調整委員会
- 27 日 同朋三者懇話会委員会
- 28 日 午後より宗務納め (1 月 7 日まで)

1 月

- 10 日 宗務初め
- 11 日 会館常例法座 (栗原一乗 師)
- 17 日 布教団役員会
- 18 日 連区基推連絡協議会 (備後 19 日まで)
- 19 日 基推第 4 部会
- 21 日 仏社役員会
- 28 日 若婦人専門委員会
- 31 日 ビハーク研修協議会

2 月

- 2 日 寺婦勉強会
- 6 日 会館休館日 (7 日まで)
- 9 日 寺婦研修旅行 (10 日まで)
- 10 日 同朋三者懇 (尾道)
- 11 日 会館常例法座 (藤間幹夫 師)
- 13 日 矯正教化管区支部研修会 (備後 14 日まで)
- 14 日 同朋講座
- 16 日 仏婦役員研修会 (17 日まで)
- 17 日 勤式練習会
- 23 日 僧侶研修会
- 25 日 教区仏青のつどい
- 27 日 布教団部門別・基幹運動研修会

3 月

- 1 日 基推総会・組相談員研修会
- 5 日 仏社総会・研修会
- 11 日 会館常例法座 (三條義見 師)

今後の予定

得度許可

おめでとうございます!!
ございます!!

御調東組 菩提寺

大塚 知里 (知責)

(平成十七年九月十五日付)

三次組 法正寺

宮武 直樹 (常照)

世羅組 真徳寺

三浦 みち子 (慈心)

(平成十七年十月十五日付)

教師授与

おめでとうございます!!
ございます!!

御調西組 光徳寺

國貞 孝行 (孝文)

(敬称略)

御調西組 西王寺

西王地 深雪 (深雪)

(平成十七年 八月三十一日付)

敬 弔

お悔やみ申
上げます

深津組 誓蓮寺

前住職 武 重雄

(十月三十日寂)

備中里組 慈恩寺

前坊守 釋 忠

(十一月十六日寂)

世羅組 善行寺

衆徒 杉原 一夫

(敬称略)

(十二月十日寂)

香典返礼

ありがとうございます
ございます

備中里組 浄心寺 様

深津組 崇興寺

開地 貞子 様

より香典返礼を頂きました。

年末年始会館休館日

十二月二十八日(水) 午後から

一月七日(土) まで

二月会館休館日

二月六日(月) から七日(火) まで

本願寺備後会館の年末年始休館日並びに二月会館休館日をお知らせいたします。

大谷本廟 お彼岸・お盆時期
駐車場閉鎖のお知らせ

大谷本廟駐車場への入場待ち車輦による交通渋滞が、年ごとに著しさを加え、周辺道路の安全な通行を妨げる状態が生じております。

このため、安全対策の一環として所轄警察署からの指導により、お彼岸、お盆等の時期に大谷本廟の駐車場を閉鎖することになりましたので、ご参拝の際には、電車・バス等、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

なお、この期間、自家用車でお越しの節には、西本願寺駐車場に駐車のうち、**無料送迎バス**をご利用ください。

公共交通機関での参拝順路

・JR「京都駅」より市バス二〇六、一〇〇系統(約十五分)「五条坂」下車すぐ

平成十八年の駐車場閉鎖予定日

- ・三月十八日(土)～二十六日(日)
- ・八月五日(土)、六日(日)
- ・八月十二日(土)～十六日(水)
- ・九月十六日(土)～二十六日(火)

閉鎖日は約一ヶ月前に確定します。念のため、電話またはホームページで確認下さい。

編集後記

：私事ですが、年末に足首を骨折しました。

恥ずかしいやら情けないやら、申し訳ないやら。法務のこと等、色んな事が頭を巡りましたが、教区報の原稿締め切りの事はかすかにも思い出さずことなくすっかり忘れていたのです。苦しくも入院初日が締め切りの日。

今回の件で至るところ、あらゆる方々に迷惑をかけ、お世話になりました。身にしてみてもその事を感じ、考える時間を頂戴したのです。しかし省みれば普段だって人に迷惑掛けず世話にならない日などなかったではないかと反省するとともに感謝の心を思い起こしたのでした。

しかし、これも怪しいものです。一時の感傷に終わらないように。

『ええか、あほは聴くの休んだらあかん。聴き続けなアカンぞ!』

ある方が私に向けてくれた言葉を思い出したのでした。本年もどうぞ宜しくお願いします。

T・F